



1998年09月01日

世界初の3リッターカー、フォルクスワーゲン ルポ

フォルクスワーゲンは、世界で最も環境にやさしい3リッターカー（燃料消費量が100km当たり3リッターしか必要としない車）を初めてパリオートサロンにて発表します。3リッタールポは、新開発3気筒ディ－ゼルエンジンと自動変速ダイレクトシフトギアボックスを搭載しています。

空力性能も最適化され、数多くの軽量化された部品が採用され、100km当たり3リッター以下の燃料消費（つまり1リッター当たり33.3km）かつ極めて低い排気ガスを実現しています。安全、経済性、快適性を何一つ犠牲にすることなく、VW 3リッターカーは、スモールカークラスで最もインテリジェンスで時代にマッチした明確な輸送コンセプトを提示しています。この革新的な小さな車は、エコロジカルな面だけでなく、小型乗用車として完成しています。外観は、ノーマルのルポと何も異なったところはありません。

燃料消費量は、MVEGに基づく試験モードもしくは、なにも注意深く運転することなくわずかに100km当たり2.99リッターを実現しています。同時に二酸化炭素を1km当たり90g以下に抑えた最初の車です。

クランクケースと1.2リッターエンジンのシリンダーヘッドはアルミ製。最新のハイプレッシャーポンプインジェクターによるターボチャージャー付直噴ディーゼルエンジンは、4000rpmで61PS(45kw)を発生させ、約800kgの軽量ボディに驚くべき性能を与えています。34リッターの燃料タンクは、給油なしで1000km以上の走行が可能です。

フォルクスワーゲンは、3リッターカールポの特徴として、ティプトロニック付自動変速機能を持つ、インテリジェント5速ダイレクトシフトギアボックスを搭載しています。クラッチを切ったとき、エコノミーモードにおいて自動的に変速します。さらにティプトロニックモードにより、スポーツカーのようにマニュアルで変速させることもできます。

わずか全長3.53mの空力ボディを持つルポは、総亜鉛メッキ処理がなされた軽量シートメタルが採用されています。また、アルミニウム、マグネシウムそしてプラスチックといった軽量素材がボンネット、テールゲート、ドア、バンパーに使用されています。さらに転がり抵抗の低い14インチタイヤを装着しています。

若々しいデザインインテリアには、4人の乗員とその荷物のための十分な空間が与えられています。運転席、助手席エアバッグ、ABSといった安全装備が標準で装着されています。フォルクスワーゲンは、この3リッターカールポを、1999年春にドイツ市場に投入予定です。価格は未定となっています。